

第4回ジオパーク下仁田協議会教育部会（報告）

日時：令和5年1月26日（金）午後3時45分～5時15分

場所：下仁田町自然史館 ミーティングルーム

所 属	氏 名	出欠	所 属	氏 名	出欠
下仁田自然学校	保 科 裕	出	下仁田ジオパークの会	高橋真理子	出
群馬県立下仁田高等学校	島田 具広	出	公民館係長	小金澤千穂	出
群馬県立下仁田高等学校	徳田 竜磨	欠	社会教育主事	有賀 喜紀	出
下仁田小学校	大河原康成	欠	下仁田町自然史館	赤 岡 明	出
下仁田中学校	榊原 秀幸	出	下仁田町自然史館	関谷 友彦	出

1 開 会

2 協議事項

1)各団体における地域教材の活用方法について

○小学校社会において

教科書の単元と地域教材の対応表について検討しました。（別紙1）

（この内容に加えて、社会教育主事の有賀さんから現在取り組んでいる内容について下記のコメントをいただきました）

- ・小4の「自然災害から暮らしを守る」では現在、下仁田町総務課の職員にハザードマップについて紹介してもらっている。
- ・小4の「郷土の学習・文化と先人たち」では、伝統文化保存会の人たちに話をしてもらっている。

このほか、本資料について下記のような意見がだされました。

- ・小3の「わかってきたわたしの市」では、旧学校区単位ごとの昔の地図と写真、などが先生たちにも利用しやすいようになっていると活用しやすい。
- ・小5の「工業生産を支える輸送と貿易」での「上信電鉄」や「明治の国づくりを進めた人々」での「下仁田戦争」などは、この単元の学習目的の本質と逸れてしまうので、扱うとしても先生の引き出しの1つとしてコラム的に紹介するぐらいの方がよい。
- ・「風水害の取り組み」は砂防堰堤の見学やダムなど見学できるのではないかと堂平ダムや下久保ダムでは見学会を開催することもある。
- ・学校の教科学習の時間でできないこと（例えばダム見学など）は、生涯学習施設など

のイベントにするのがよいのではないか？

- ・公民館の子供向け教室は、地域を学ぶと同時に、近隣市町村に目を向けさせることも考えている
- ・自然史館では、地域の子どもだけを対象とせず、幅広い層の大人や子どもを対象にしたイベントにしたいと考えている。
- ・生涯学習施設の行事を活用するは、親の条件など参加できる子どもに限られてしまうので、町の子どもたちの地域理解を深めることを目的とするのであれば、学校の総合の時間や遠足などの時間を活用する方が効率いいと思う。
- ・小学校では5年生の授業でジオパークを東西に横断するバスツアーを開催し、ジオの会で案内をしたが、馬山の子どもたちが西牧を知らなかったり、西牧の子どもたちが馬山を知らないという子が多く、学校の授業でまちを見て回るのはいいことだと思った。
 - ・学校に地域教材の扱い方を提示するのも大事だけど、このようなモデルプランを提案して、学校の行事にしてもらう方が根付きやすいのではないか。

○中学理科において

前々回、高橋さんから提案していただいた中1理科の教科書と地域教材の対応を参考に、令和5年2月に中学1年生を対象に、教科書を地域で学ぶ学習に取り組むことになりました。(別紙2)

この学習の目的は、生徒に地域教材を通じてより学習の理解を深めるとともに、教員に地域資源の活用法を知っていただくことも目的とします。

今回出された意見と、2月の中学生の理科学習の実践経験も踏まえて、学校教育、社会教育におけるの地域教材の活用方法について検討していきます。

3 次回の部会開催について

令和5年 5町の子どもたちのちいきの理解を深めるのに、月 3週目 GW明け頃